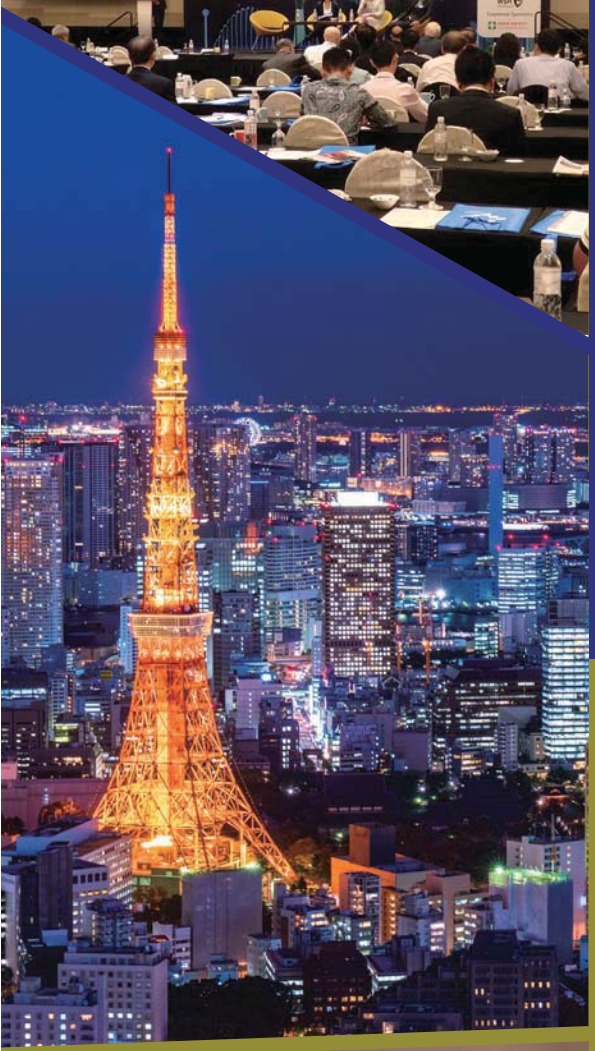

APOSHO 35

日本では32年ぶりの開催！

アジア太平洋安全衛生大会

APOSHO（アジア太平洋労働安全衛生機構）

年次コンファレンス

2021年(令和3年)10月27日(水)～29日(金)

会場：東京国際フォーラム（予定）
（東京都千代田区丸の内）

APOSHOとは？

APOSHOとは「アジア太平洋労働安全衛生機構」（Asia Pacific Occupational Safety and Health Organization）の略称で、1985年に設立されたアジア太平洋地域の非営利の労働安全衛生 団体を正会員とする組織です。
日本、中国、香港、台湾、韓国、インドネシア、マレーシア、パキスタン、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、インド、スリランカ、オーストラリア、モーリシャスの29団体が正会員、アメリカ、ドイツ、イギリスなどの団体が関係団体等として加盟しており、日本からは中災防が参画しています（裏面参照）。

日本開催のコンセプト

「全ての人のための持続可能な開発に向けた安全衛生を考える。」をテーマに、本コンファレンスでは、アジア各国の安全衛生団体や企業が一堂に会して、情報発信・共同学習・意見交換・国際交流等を行い、相互理解やネットワーク構築を図り、アジア地域及び参加各国、企業の労働安全衛生水準の向上を目指します。また、それにより持続可能な開発目標（SDGs）が謳う、あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進します。

同時開催

第80回全国産業安全衛生大会（東京）

緑十字展2021～働く人の安心づくりフェア～

全ての働く人々に安全・健康を ～Safe Work, Safe Life～
JISHA 中災防

日本開催事務局：中央労働災害防止協会 技術支援部国際課
電話：03（3452）6297　FAX：03(5445)1774　E-mail：aposho35@jisha.or.jp

ごあいさつ

中央労働災害防止協会 理事長

八牧 暢行

中央労働災害防止協会(中災防)は、日本を代表する労働災害防止団体として、「アジア太平洋労働安全衛生機構(APOSHO)」に加盟し、長年にわたり、その活動に参画しています。

今般、同機構の年次コンファレンス(第35回)の2021年(令和3年)10月東京開催を招聘しました。また、その意義を一段と高めるとともに、多数の参加者による盛況を期して、中災防が主催する「全国産業安全衛生大会・緑十字展(東京大会)」と同時に開催することとしました。

このコンファレンスでは、アジア太平洋地域の主要各国に一部の欧米諸国を加えた21ヵ国・地域の加盟39団体が一堂に会し、3日間にわたって基調講演や技術発表等が行われます。そして、これらを通して、参加国・地域における「最新情報の提供」、「加盟団体との交流・意見交換」、「日系企業間のネットワークづくり」等を目指します。

また、全国産業安全衛生大会・緑十字展との同時開催により、日本とアジア太平洋諸国との間の労働安全衛生活動のいわば「橋渡し」をすることも企図しています。 このコンファレンスの東京開催を主導する中災防としては、日本の労働安全衛生や災害防止に携わる行政・学会・関連団体のみならず、アジア太平洋地域で事業を展開されている産業界・企業の皆様にも広く参加のお声掛けをさせていただき、アジア太平洋地域及び日本の労働災害の防止に大きく貢献するコンファレンスを企画してまいります。

多くの皆様のご参加とご支援・ご後援・ご協賛をよろしくお願い申し上げます。

スケジュール

分科会テーマ例

- ISO45001・JIS Q 45100の動向
- ゼロ災運動・ヴィジョンゼロへの取組み
- メンタルヘルス・健康づくりへの取組み
- 高年齢労働者対策
- 若年者層への安全衛生教育
- 化学物質の取扱い
- AI・IoTを活用した安全衛生対策
- 外国人労働者対策
- 安全文化の醸成 等

(今後、国内外から一般発表を募集する予定です。)

開催スケジュール(2021年)

■ APOSHO年次コンファレンス:APOSHO大会
■ 全国産業安全衛生大会(東京):全国大会

日程/時間	AM	PM
10/27(水)	【APOSHO大会】* 開会式、基調講演	【全国大会】 総合集会・緑十字展
	緑十字展	
10/28(木)	【APOSHO大会】** 海外及び日本からの技術発表	【APOSHO大会】** 海外及び日本からの技術発表
	【全国大会】 分科会・緑十字展	【全国大会】 分科会・緑十字展
10/29(金)	【APOSHO大会】** 海外及び日本からの技術発表	【全国大会】 分科会・緑十字展
	【全国大会】 分科会・緑十字展	

＊同時通訳あり ＊＊一部同時通訳あり

APOSHO 35

2021年の第35回アジア太平洋労働安全衛生機構年次コンファレンス（APOSHO35）を日本（東京）で開催します。大変喜ばしく思うとともに、日本での開催を招聘され、その企画・準備にご尽力下さる中央労働災害防止協会（中災防）に深甚の感謝を申し上げます。

日本の労働安全衛生活動は、国や中災防の牽引と関連団体・産業界・企業の弛まぬご努力をもって、世界でも先駆的に取り組まれ、労働災害の減少など、大きな実績を上げてこられました。また、それらの活動の紹介や交流などを通して、APOSHOの発展に多大な貢献を果たしてこられました。衷心より敬意を表します。

このコンファレンスと同時開催される全国産業安全衛生大会には1万人超が参加され、識者のご講演や200を超える企業・事業場からの事例発表が行われると伺っています。また、緑十字展には、2万人超が来場され、最新鋭の安全衛生保護具の展示・紹介などが行われるとのことです。このようなスケールの大きな集いとの同時開催により、その熱意や盛り上がりを身近に感じながらコンファレンスを開催できることに、これまでにない魅力と期待を感じています。

そして、日本の多くの皆様にこのコンファレンスに参加していただき、アジア太平洋地域及び日本の労働安全衛生活動の向上と労働災害の防止・削減に大きく資してまいりたいとの思いを新たにしています。

APOSHO事務局長

バーニー・ドイル

オーストラリア全国安全評議会会長
兼委員長
（NSCA: National Safety Council of Australia Foundation）
オーストラリア全国安全評議会終身名誉会員

参加のメリット

- アジア各国・地域の最新の安全衛生情報の入手
- アジア各国・地域の安全衛生団体等と情報交流
- 日系企業の安全衛生担当者間のネットワークづくりの促進
- 日本企業・現地日系企業等の労働災害の削減に貢献

APOSHO34（中国）

協賛金・寄付金のお願い

協賛金・寄付金につきましては、今後、企業等の皆様にお願いをさせていただく予定としております。

APOSHO33（香港）の協賛企業ロゴ

APOSHO32（シンガポール）

APOSHO加盟団体（2019年11月1日現在）

〈正会員〉

オーストラリア全国安全評議会（NSCA）
オーストラリア災害防止基金（IFAP）
中国職業安全健康協会（COSHA）
中国安全生産協会（CAWS）
中国中鋼集団武漢安全環境保護研究院（SEPRI）
香港職業安全衛生協会（HKOSHA）
香港職業安全健康局（HKOSHC）
香港労働安全衛生協会（IOSH-HK）
中華民国工業安全衛生協会（ISHA）
インド全国安全評議会（NSCI）
インドネシア全国安全衛生評議会（NSHCI）
労働安全衛生能力認定研究所（ICCOSH：インドネシア）
中央労働災害防止協会（JISHA）
韓国産業安全保健公団（KOSHA）
韓国産業安全協会（KISA）
マレーシア労働安全衛生協会（MSOSH）
国立労働安全衛生研究所（NIOSH：マレーシア）
マレーシア労働安全衛生専門家協会（MOSHPA）
労働安全衛生マネージメント協会（IOSHM：モーリシャス）
パキスタン安全協会（PSC）
フィリピン安全協会（SOPI）
フィリピン安全管理者協会（ASPPI）
フィリピン職場安全推進協会（WASPI）
シンガポール全国安全評議会（NSCS）
シンガポール安全管理者協会（SISO）
スリランカ労働安全衛生協会（WSHA）
タイ労働安全衛生促進協会（SHAWPAT）
ベトナム国立労働安全衛生研究所（VNNIOSH）
ベトナム労働安全衛生協会（VOSHA）

〈準会員〉

ブルネイ開発省建設庁（ABCI）
マカオ労働局（LAB）

〈関係団体〉

ドイツ法定災害保険（DGUV）
労働安全衛生作業環境協会（SOSHWE：インドネシア）
安全衛生環境マネージメント研究所（ISHEM：モーリシャス）
労働安全衛生協会（IOSH：イギリス）
アメリカ安全技術者協会（ASSE）
認定安全専門家評議会（BCSP：アメリカ）
アメリカ安全評議会（NSC）
世界安全機構（WSO：アメリカ）

（正会員29団体　準会員2団体　関係団体8団体）

今後のスケジュール

今後の具体的なスケジュールや申込方法等については決定次第、中災防ウェブサイトのAPOSHO36関連のページ（https://www.jisha.or.jp/international/）に掲載されます。

APOSHO35ロゴマークについて

日本の「国蝶」オオムラサキがモチーフ。気品のある日本らしさを象徴するとともに、自然や社会との調和を表現しています。また、安全衛生分野における日本の長年の識見・経験が世界各国・地域でも活用され、相互に交流が行われる様を併せて表現しています。